

10月11日～20日 全国地域安全運動

私たちの地域は、 私たちの手で守ろう！

10月11日～20日までの10日間、「全国地域安全運動」としてさまざまな事業が展開されます。

私たちの住む地域が必ずしも安全とは言えなくなり、日常生活のなかでの不安感が大きくなってきています。このような中、地域をあげて犯罪のない明るい地域社会を築き、「私たちの地域は、私たちの手で守ろう！」という気運が高まり、「地域自主防犯組織」の活動が、それぞれの地域で広がっています。

ここでは、町内の各地域での取り組みや、私たちが身近にできる地域防犯活動などを紹介します。

がんばっています 自主防犯地域活動

日野地区 安全なまちづくり協議会



さだお 貞夫さん
もりた 森田

日野地区安全なまちづくり協議会では、今年5月13日に設立総会を開催し、

6月2日には日野公民館を会場に出発式を行いました。現在、協議会の会員は71名です。主に帰宅途中の児童・園児の安全確保を重点とした防犯パトロールをしています。

また、会員の皆さんの協力による防犯教室や、県の指導のもと地域安全マップの研修会も開催しました。

「日野地区の安全は私たちの手で」を合言葉に、多発する犯罪から子どもたちを守るために、会員一同、気持ちを新たにしています。

南比都佐地区 安全なまちづくり協議会



やすい 安井
きくまつ 喜久松さん

南比都佐地区安全なまちづくり協議会は、平成15年度に日野町で一番最初に防犯活動を行う協議会として立ち上がりました。老人会や平成17年度に結成されたボランティア組織「みまもり隊」のメンバー60名と共同で活動し、下校途中の児童を温かい目で見守っています。

特に、日野・水ログリーンバイパスの深山口交差点の道路高架トンネルの通学路には防犯カメラを設置し、犯罪の起こりやすい場所の先進的な対策整備を進めています。

必守会 (必佐地区)



むらしま 村島
しげお 茂男さん

必佐地区では、昨年度に自主防犯組織を立ち上げました。必佐地区を必ず守る」という意味合いを込めて「必守会」という名前で防犯活動をしています。年齢層は比較的若く40歳代のものが中心に活動しています。

特に、日野駅周辺は若者など多くの人が行き交うことから、毎日午後7時



から10時まで、3人体制で日野駅前の
防犯立ち番を実施しています。

椿野台



せつお 節夫さん
よしざわ 吉澤

椿野台では、以前より地区内に不審
者が出るこの情報が寄せられ、子どもの
安全を何とかして守らなければならぬ
この思いから、区長を中心として平成
16年度に防犯組織を立ち上げました。

登下校時に合わせて、都合のつく人
が大窪公園前で立ち番をしています。
また、夜の団地内のパトロールもして
います。団地内では一人で帰宅する状
況が多いため、特に気をつけています。

五月台



たけし 武志さん
たまがわ 玉川

湖南サンライズ地区では、平成16年
度に自主防犯組織を立ち上げて活動し
ています。子どもの下校時に合わせて
2人体制で毎週金曜日にパトロールし
ています。子どもの安全を確認した後
は、集落内をパトロールしています。
月に一回は、午後7時30分から、必
左駐在所と連携して、不審者がいな
い、また不法な路上駐車がないかなど
のパトロールもしています。



くにお 国雄さん
からと 唐渡

湖南サンライズ 防犯委員会

五月台では、平成16年度に自主防犯
組織を立ち上げ、御代参橋に毎日立ち
番し、子どもの下校時の安全を確保し
ています。また、ながらパトロールや、
巡回パトロールも定期的に行っており、
環境整備・草刈りにより、不審者が潜
みそうな危険箇所を出来るかぎり少な
くしようとも努力しています。
防犯灯委員を結成し、夜の団地内道
路の照明をチェックしたり、住民の防
犯意識の高揚にも努めています。

鎌掛地区みまもり隊



こういち 公一さん
しのむら 篠村

鎌掛地区では、平成16年度より、自
主防犯組織を立ち上げ、「鎌掛地区み
まもり隊」の名前で、子どもたちの安
全確保に、取り組んでいます。

鎌掛の小学生たちは、日野小学校ま
でバス通学をしているので、毎朝、登
校時に子どもたちの様子を見ながら、
バス停で立ち番をしています。下校時
は、老人会の方が、バスの時間に合わ
せて立ち番をしてくださっています。



「子ども110番」で危険から守ります

子どもたちが、登下校時や外で
遊んでいるときに、「声かけ・痴漢・
つきまとい」などの被害にあった
とき、安心して駆け込める場所を
「子ども110番の家」として位置づけ
ています。



また、車・
バイクなどに
ステッカーを
貼って見守っ
ている「子ど
も110番の家」
があります。
これは、集落
から外れた人

通りの少ない場所や、子ども110番
の家がない場所を補うためのもの
で、子どもが助けを求めたとき
きは、停車し、子どもを保護しま
す。主に、町内を回る企業や郵便
局の車などに貼っていただいでい
ます。
子どもたちが
安心して生活す
る上で、子ども
110番の家と車は、
地域ぐるみのポ
ランティアとし
て活躍していま
す。



企業や団体も「子どもを守る活動」を応援



▶日野町建設工業会長・大島孝美さんから防犯自治会長（藤澤町長）へ手渡されました



▶子どもの危険を知らせる防犯ブザー

以前「広報ひの」で紹介しました、株式会社ヒロセ（岸田千代子社長）さんから寄付いただきました金50万円は、自主防犯組織で使われるパトロールベスト、ジャンパー、誘導灯、帽子、全面反射たすき、メガホンなどを購入し、町内自主防犯組織の代表者にお渡ししました。また、日野町ゴルフ協会（西岡孫衛会長）さんから寄贈いただきました防犯ブザーは、町内小学校へ配布しました。

そしてこのたび、日野町建設工業会（大島孝美会長）さんから、子ども110番の三角コーン100個を日野町と日野町防犯自治会に寄贈いただきました。ありがとうございます。

そのほか、町内企業で自ら営業車の車体に防犯推進啓発ステッカーを貼るなど、犯罪の抑止力となる活動も実施されています。地域や企業が一体となって「安全・安心なまちづくり」が、確実に一歩一歩進んでいます。

みんなで気を付けたいこと



被害にあわないための5つの約束

- 一人では遊びません
- 誰と、どこで、遊ぶか話します
- 知らない人にはついていきません
- 無理に連れて行かれそうになったら、大きな声を出します
- 友達が危ないときは、大人に知らせます

家族が注意すること

- 日ごろから子どもに「5つの約束」を言い聞かせておく
- 子どもが遊びに行くときは、門限時間を決め、行き先を確かめておく
- 子どもとともに近所を歩き、通学路にある商店やコンビニ、子ども110番の家など緊急時の避難先を確認しておく
- 子どもに防犯ブザーやホイッスルなどを持たせる

◆問い合わせ先

住民課 生活環境交通担当 ☎6578 有線67784

地域が注意すること

- 不審者を見かけたら必ず声をかけるなど、地域ぐるみで子どもを守る気運を高める
- 子どもが見知らぬ人に連れていかれそうになっているのを見かけたら、遠慮せず声をかけて確かめる
- 車に連れ込まれるのを見たら、車の色やナンバー、車種等を確認しすぐに110番をする
- 日ごろから子どもの行動に関心を持ち、不審者がうろついていたら110番する